

矢部中学校 学校だより

善遊善学

敬愛・・・人を大切にする生徒

克己・・・粘り強く取り組む生徒

創造・・・主体的に活動する生徒

令和元年度

11月25日

第14号

編集責任者 山口 浩史

矢部まつりで見事な浮立の公開ができました！

11月16日(土)に行われた矢部まつりで、矢部小・矢部中の子どもたちが、見事な浮立を披露してくれました。



夏休みから浮立保存会の皆様のご指導を仰ぎ、合同練習を積んだ、矢部小・矢部中の子どもたちは、素晴らしい秋晴れの好天に恵まれた中、公開当日を迎えました。

衣装の着付けには、保護者の皆様や地域の方々が協力してくださり、立派な浮立の出で立ちが準備できました。太鼓後見役のT・Rさんの合図で、道囃子の演奏が始まり、小学1年生の御幣持ち、笹もち、猿面の先導に続き、小学2年生～中学1年生で構成された囃子手による後ろ向きの踊りで会場入りが始まりました。会場では、眞法師のN・Nさんの口上から浮立が始まりました。大太鼓打ちのK・Rさん、K・Kさんをはじめ、矢部の子どもたちは、それぞれの役割を見事に演じきり、『八女津媛神社の浮立』という福岡県の無形文化財の伝承をやり遂げました。多くのみなさんが、子どもたちによる浮立の公開を一目見ようと来場され、会場を幾重にも取り囲まれている様子が、写真でも確認できます。

見事な浮立をやり遂げた、矢部の子どもたちをととても誇りに思っています。ご協力いただいた浮立保存会を始め、矢部地区の皆様に感謝申し上げます。

八女地区駅伝競走大会でがんばりました！

11月8日(金)に、筑後広域公園を会場に行われた八女地区駅伝競走大会に矢部中学校の子ども全員で参加しました。

保健体育科では、10月～11月にかけて持久走の授業が行われています。その発表の場として位置づけ、駅伝部を全校生徒で構成しました。平日には、矢部中のグラウンドで朝練習を行い、土・日には、矢部川沿いの道路で練習を重ねました。また、本番の会場である筑後広域公園での試走を2回行い、当日を迎えました。

5人で構成するチームで競う女子の部では、K・Tさんが足首のけがにより参加できなかったため4人での参加となり、チームとしての結果は残りませんでした。個人記録は公式に残っており、1区のU・Hさんが22チーム中13位でタスキを繋ぐなど、練習よりもタイムが上がった子どもが多くいました。



6人で構成するチームで競う男子の部では、25チームが参加する中、1区のI・Tさんが11位で2区のK・Aさんにタスキを繋ぎ、Aさんが10位に順を上げるなど検討し、最終的に全チーム中11位でゴールしました。その後行われたタイムレースに出場した子どもたちも含めて、矢部中の子どもたちは、これまでの試走や練習の時よりも大きく記録を伸ばしていました。全校生徒数18名の矢部中が、25チーム中10位でゴールしたことに、多くの大会関係の先生方が驚かれています。

(今年度中体連会長の私は、とてもうれしく、心の中でガッツポーズをとっていました。)この成果は、駅伝部顧問の原島先生や武下先生が、根気強く、毎朝の練習や土・日の練習を指導していただいたことと、それに答えようと努力を重ねた子どもたちの成長の証であると思っています。

当日、会場に応援に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

また、土・日の矢部川沿いでの練習で、温かい声かけをしていただいた矢部地区の皆様方に感謝申し上げます。